

市政 報告

発行:長島有里事務所
(電話兼FAX)046-876-5802
E-mail
yuri_nagashima@yahoo.co.jp



長島有里

36歳

逗子市議会議員 3期目

監査委員

立教大学法学部卒

横浜市立大学大学院修了

会派: 市政クラブ

<http://nagashimayuri.com>

ブログ更新中

こどもの貧困 連鎖をとめる方策とは

親の経済格差が子どもの教育格差に影響すると数年前から指摘されてきましたが、近年その差はさらに広がり大きな社会問題となっています。貧困の連鎖は子どもにまで押し寄せ、日本の子どもの貧困率は14.3%でいまや約7人に1人の子どもが貧困とされる水準で生活をしているともいわれています。

なかでも、私が今、問題視しているのは児童ホームの子どもたちが施設を出たあとに、仕事のミスマッチから転職を繰り返す、ひどいケースでは暴力団や風俗業界で働くことで、その子どもが施設に入所するという「貧困の連鎖」をいかに断ち切るかということです。

下の図のように、児童ホームは原則18歳になると子供たちは施設を出ることになりますが、退所後の居場所を探そうとしても、連帯保証人を立てることができずにアパートなどを借りることができないケースがあります。このため、住み込みで働くことができる仕事という制約から、寮付のパチンコ店、旅館、建設業など特定の仕事に限られてしまいます。

もちろんすべての子どもたちではありませんが、児童ホーム出身の子供たちは自分の希望やスキルと見合っていない仕事を選択をし、初職からつまづいて転職を繰り返すケースが多いといわれています。

NPO法人を設立をした背景

【大学進学 約1割】

児童養護施設
(18歳まで)

【就業 約7割】

未成年かつ、保護者がいないため
賃貸物件を借りることができない

住み込みで働くことができる仕事へ

仕事の選択肢が限られ、本人の
意欲やスキルとのミスマッチが発生。
離職=居場所をなくす

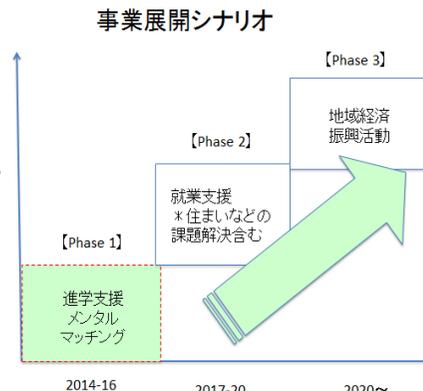
さらにその子供
が施設へ
(貧困の連鎖)

セーフティネットの不在

性風俗産業や暴力団に入るケースも



全高卒者のうち大学等への進学率は53.2%に対し、児童養護施設児は12.3% (厚労省調べ・平成26年) と4分の1以下に留まります。ただ、児童ホーム関係者は小さい頃から集団生活を送っているため、協調性が高い人材が多いともいわれます。居場所が確保しにくいという理由だけで、彼ら



・彼女らの将来の可能性が閉ざされてしまうのは本当にもったいない。そこで私は、昨年仲間たちと児童養護施設の子どもたちの就労、就学支援を行うNPO法人(NPO法人KANATAN)を立ち上げ、協力者を募りながら子どもの貧困問題解決に向けて活動しています。

これまでに、大学生の家庭教師を派遣したり、様々な職種を紹介するためアクセサリデザイナーの方によるアクセサリーブクリ教室などを実施しています。

親が定職についていないなどロールモデルを持たない子どもたちに、多様な仕事があること、学ぶことで可能性が広がることなどを少しでも伝えられたらと思っています。

さらに、日本にはひとり暮らしの高齢者が約480万人おり、向こう30年で倍増する勢いですが(総務省調べ、予測は国立社会保障人口問題研究所・2010年)、フランスでは2003年の猛暑で多くの独居老人が亡くなったことをきっかけに、世代間同居マッチングが普及し始めました。

NPOや企業が仲介機関となって高齢者と学生を結びつけ、現在全仏で1千組を超えているとのこと。こうした世代間同居マッチングを、日本の児童ホームの子どもたちと独居老人に応用できないか、試行し成果を上げられたらと考えています。

このように、NPOの活動の中で見つけた課題を行政に政策として提案したり、逆に行政ではできないことをNPO法人の活動を通じておこなっていきたいと考えています。今年の冬にはまた上映会やトークショーを企画予定ですので、是非ご関心のある方は参加していただければ幸いです。



さざなみホールで実施した児童施設の子どもたちの暮らしを追ったドキュメンタリー映画『隣の人』の上映会。

長島有里の提案

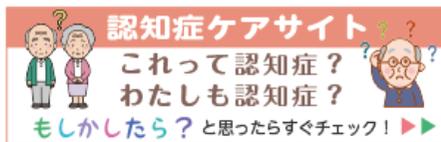
【病児保育スタートしています】

いざ保育園に預けて働かだすと必ずぶち当たる壁が子どもの病気。私も次女が小学校にあがりようやくその悩みから開放されつつありますが、小さい頃は保育園から携帯に着信があるたびにドキドキしたものです。行政が病児保育を実施するとなるとどうしても赤字になってしまうため、逗子市ではまずファミリーサポート制度の中で病児保育を始めます。(利用料は1時間900円、土日祝日は1時間1,100円です。)

38度以上の熱や感染症などでは利用できないなどまだまだ利用者からすると不便な制度ではありますが、ご活用いただき改善点などご意見をお願いいたします。

【認知症チェックリスト】

最近、性格が変わったように母がひどいことを言うようになった・・・などという相談をよく受けるようになりました。もしかするとそれは認知症の初期症状かもしれません。



65歳以上の高齢者では7人に1人、軽度の方を含めると4人に1人といわれています。以前より京都府・宇治市などを参考に認知症チェックリストの作成を議会でも要望してきましたが、逗子市のHPでもチェックできるようになりました。

簡易なものですが、財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う、些細なことで怒りっぽくなるなど、いくつも当てはまるようでしたら早目の受診をお勧めします。

<http://fishbowlindex.net/zushi/67pDvKqjQ152Vb36BKwt3A/menu.pl>

【シルバー世代の雇用拡充を】

2030年代には、今の40代を中心とした「次世代シニア」が約188万人失業する予測があります(リクルートワークス研究所)。逗子には、シニア就労の受け皿として、(株)パブリックサービスがあります。しかし、粗入会率が約0.9%と全国平均1.9%を大きく下回っています(60歳以上人口約2万1,000人のうち会員数97名)。その理由として、業務内容は市の受託業務が主で、ホワイトカラー層の受け皿になっていないことが考えられます。このため、営業開拓担当を置き新たな民間の仕事もどんどん受注するなど、多様なスキルを持ったシニアの方が働ける環境づくりを市議会で行っています。

◎注目の取り組み! ~逗子発都市型福祉のモデル事業~

逗子市小坪に一挙両得を目指したデイサービス併設型託児所がオープンしました。この施設は犬と高齢者と子どもが共に過ごす場所。お散歩から帰ってきた子ども達がお部屋に入るなり、シニアの方々の生き生きとした変貌ぶりに驚きました。

元ブリーダーのおばあさまは子ども達に絵本を読んでいるうちに失語症が改善されたといえます。世代間の交流もできる素敵な施設です。ご興味ある方は是非お問い合わせください。

特定非営利活動法人アニエルチ <http://anielchi.org/>



アニエルチの施設長の犬と大谷さん

市民のみなさんから寄せられたご要望例

Q夜道が暗くて子どもの塾帰りが心配・・・

→現地を確認し、所管に要望したところLEDライトの照度を上げることで改善しました。



(新しくなった小坪飯島プール)

Q小学校のプールを夏開放してもらえないの?

→飯島公園と第一運動公園の市営プール整備に伴い、現在は開放していません。

逗子市民のお子さんは両方のプールが無料となります。私立に通われている小中学校のお子さんは市役所5階学校教育課で無料パスをお渡ししていますのでご利用ください。

Qシングルマザーのキャリアアップ支援にはどんなものがあるの?

→対象の講座であれば、上限10万円講座料の20%まで補助金ができます。

例えばホームヘルパー資格取得講座やパソコン基礎スキルの講座など。

詳しくは子育て支援課までお問い合わせください。



働き方を選ぶ、自在に生きる。



←多様な働き方を応援するWebサイト
Workstoryに取り上げていただきました。
<http://work-story.jp/>



ご意見、ご要望はこちらまで!

Fax 046-876-5802

E-mail yuri_nagashima@yahoo.co.jp



【編集後記】

みなさん、カマコンバレーってご存知でしょうか。ITベンチャー企業を起業した若者たちが中心になって鎌倉で発足させたグループです。定期的に会合を開き、そこで志を持つ人たちからアイデアを募り、これは!と思う提案があればプロジェクトチームが発足、資金集めや人的サポートまでスピード感を持って行うところが、米国のシリコンバレーとも似ています。カマコンバレーからは、カヤックが上場し、スタートメンバーのひとつランサーズという企業も近く上場が見込まれています。彼ら・彼女らのユニークなところは、ビジネスだけでなく、地域の防災対策や観光まちづくりに積極的に関わり組んでいること。そして、メンバーの中心はもともと地元の人ではなく、鎌倉市民以外にも逗子市民、葉山町民らも受け入れていくことです。「反対する仲間がいなければ、まず走り出します。」というコンセプトに私も共鳴し、時折、会議に参加しインスピレーションされています。